

評価会議（平成 27 年度期末）における委員の評価及び意見

(ア) 取組実績の評価（１）：事業の実施状況

評価点 (配点 30 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	25	20	25

(イ) 取組実績の評価（２）：事業の実施体制等

評価点 (配点 20 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	18	15	15

(ウ) 取組効果の評価：目標等の達成状況

評価点 (配点 50 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	40	30	45

(エ) 総合評価

1 総合評価Ⅰ

項目	A 委員	B 委員	C 委員
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	A	A	A
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	A	A	A
(3) 区のマネジメントに合った取組	A	A	A

主な意見等

- ・地域の状況を的確に把握できており、その状況に合わせた支援ができています。区との連携も図られている。（A 委員）
- ・エリアの特性、地活協の成熟度合を把握している。自律支援、活動のすそ野拡大という 2 つの戦略を立案し、独自の活動を起案、実施している区のニーズに沿った活動ができています（B 委員）

2 総合評価Ⅱ

項目	A 委員	B 委員	C 委員
総合評価（全体）	A	A	A

主な意見等

- ・まちセンとしては頑張っているが、成果としての地活協の自律は十分とは言えない。（A 委員）
- ・本来の目的を見つめ直し、活動のたなおろしを行い、K P I の設定により成果の見える化を図られたい。地域によっては真の自律を促す接し方が必要ではないか。（B 委員）
- ・各地域の現状の状況・達成度合に応じた支援内容・戦略・工夫がみられ、成果がでてきていると感じる。（C 委員）
- ・分譲マンションに向けたアンケートを活かし、どこか集中支援地域を決めて、他のマンションに好影響をもたらすモデルが 1 つ、2 つできてくることを大いに期待したい。（C 委員）

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない